ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

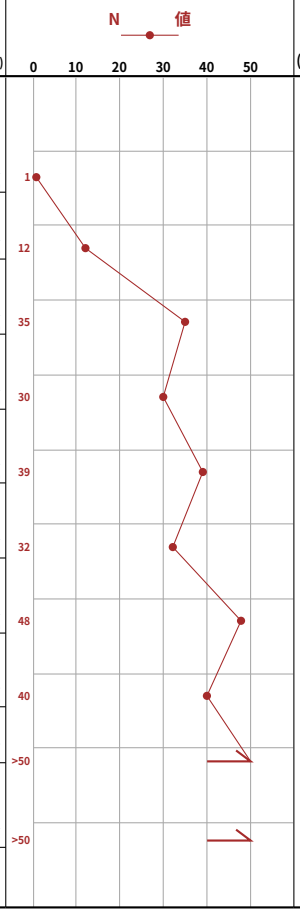
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-3(左岸)	調査位置				北　緯	36 ° 32 ' 04.2000 "
発 注 機 関	栃木県宇都宮土木事務所			調査期間	2009-10-14 ～ 2009-10-19	東　経	139 ° 49 ' 44.1000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	105.48 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	10.52 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) 測定月日
	104.63	0.85	0.85		シルト (M)	黒灰			含水中位。粘性中～小位。有機質土。上部暗褐呈す。		10/15 0.80
1	103.93	0.70	1.55		シルト・細砂混合土互層 (M/FS)	暗褐		非常に軟らかい	含水大位。細砂不規則に混入。		
2	103.13	0.80	2.35		砂礫 (GS)	暗褐～灰褐	中ぐらい		含水大位。φ10～30mmの円礫。全体的に砂分多く含有する。		
	102.68	0.45	2.80		軽石 (Pm)	淡灰黄			含水大位。著しく粘土質。二次堆積の様相呈す。		
3					砂礫 (GS)	褐	密な	軟らかい	含水中位。φ1040mmの円礫主体。マトリックスは砂主体に細粒土含み、下部に従い細粒土分多くなり密な状態呈す。6.00m付近凝灰質の砂不規則に挟在する。コア長4～12cmの玉石混入し、所々風化礫点在。		
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10	94.96	7.72	10.52								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／40			1／40	1
1.55					
2.15	6	5	1	12／30	12
2.45					
3.15	13	11	11	35／30	35
3.45					
4.15	9	11	10	30／30	30
4.45					
5.15	11	14	14	39／30	39
5.45					
6.15	8	11	13	32／30	32
6.45					
7.15	12	15	21	48／30	48
7.45					
8.15	11	12	17	40／30	40
8.45					
9.15	50／5			50／5	>50
9.20					
10.15	30	20／7		50／17	>50
10.32					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						10/15
						10/16